

# 日鉄住金鋼板の次世代GL鋼板採用

## カナメ

# 新「金属瓦屋根」を発売

金属屋根の製造販売工事業、カナメ（本社・宇都宮市平出工業団地、社長・吉原正博氏）は、きょう20日から日鉄住金鋼板製の次世代ガルバリウム鋼板「エスジーエル」を採用した和瓦風の金属屋根「SGL版カナメルフ」の販売、施工を開始する。主力商品の一つを起点に、他の金属屋根製品についても同様の展開を想定。住宅や大型施設、神社仏閣など幅広い需要を捕捉する。

カナメルフは、1インながら、重量を和瓦の10分の1に抑えて、耐震対策が必要。和瓦を横に6枚連ねた形状で部材の削減や現場の手間を軽減できる利点をもつ。和瓦を忠実に模したデザ

インながら、重量を和瓦の10分の1に抑えて、耐震対策が必要。和瓦を横に6枚連ねた形状で部材の削減や現場の手間を軽減できる利点をもつ。和瓦を忠実に模したデザ

山の永平寺をはじめ本山級の寺院を筆頭に多くの社寺で採用実績を上げている。直近では板金業界に高評価を受け、店舗の装飾や舞台のセットなど多彩な用途で採用機会が拡大する。20

15年度の出荷量は2万4400枚（1万2200平方分）に上る。

エスジーエルは、マグネシウムの添加で従来に比べ耐食性能が3倍超と高いほか、酸性雨と酸性雪に対する耐候性や、切断面の端部と傷部で錆耐食性が増すなど耐用年数が25年に延長している。

ングし、その結果を判定や通知、データ収集するなどの各工程を自動化している。

瞬時にトレーサビリティ（追跡可能性）を調査でき、トラブル発生時の迅速な課題解決などにつなげる。11月16日から18日にかけて名古屋市の吹上ホールで開催する次世代ものづくり基盤技術産業展において、実演を交えて初披露する。